

F Mアップルウェーブ 第135回放送番組審議会

開催日時	令和6年3月9日（土） 12:00～
開催場所	土手町コミュニティパーク2F地域交流室（弘前市土手町）
出席委員	委員長 佐藤 信隆、副委員長 鳴海 清彦、 委員 渋谷 拓哉、高村 智子、窪野 夏希、熊谷 さくら、加賀 新一郎（レポート）
会社側出席者	代表取締役社長：一戸 勝美 放送部部長：佐藤 誠、副部長：花田 由香子、オブザーバー 前田 周一（CAST）
議 題	(1) 番組に対する意見要望 (2) 次回開催日について 6月22日（土）
議事の概要	<p>○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1) 課題番組 『夜はきままに～雀 night～』</p> <p>① 麻雀を知らないなので内容はちんぷんかんぷん。初心者にもわかるように、初心者が興味を持てるような話をしてほしかった。男性パーソナリティの存在感が無く、なぜ出ているのかもよくわからなかった。</p> <p>② 専門的な部分はわからなかったが、聴いていて楽しかった。男性パーソナリティが麻雀のプロぶりの会話に良いタイミングで相槌を入れていた。地元にもプロの雀士がいるということが知れてよかった。</p> <p>③ 弘前に女性専用の麻雀のサロンがあるということを知って驚いた。こういった人物をよく見つけたと思う。メインパーソナリティの遠山プロは話が上手で、もう一人のゲストのプロと、男性パーソナリティの3人の会話はバランスがよく、男性の声がか聴いていていい仕事をしていたと感じる。固有名詞は多く、知らない辛い。</p> <p>④ 話の流れがラフで、わからない単語が多かったが、ゲストの大平プロの言葉のチョイスが良く、最終的にはのめり込んで聴けた。グッズの話などは興味が沸き、話題に上がるものを知りたくて検索してみたくなる。パーソナリティの質問の仕方が上手だった。津軽塗の雀牌は話題になっていたのを知っていた。 なかなか貴重な番組。</p> <p>⑤ パーソナリティの遠山プロの出身がわからなかったが、地元でこういった人がいることを初めて知ったのでプロフィールをきちんと話してほしかった。「3連覇」などすごいことなんだろうと思うキーワードがあったが麻雀プロの組織などを知らないため、もっと紐解いてほしい。</p> <p>⑥ 麻雀プロについて、馴染みが無さ過ぎて新鮮ではあったが、番組のコンセプトがわからなかった。話題が東京での話が多かったが、一般のリスナーには普段ほとんど耳にしない話題だったと思うので、地元での麻雀の動きや、地元の麻雀プロの活動の話などをもっと知りたかった。弘前に女流雀士がいるということ、プロの麻雀の大会や賞金の話などの話をしてほしかった。</p> <p>⑦ メインパーソナリティの話がか聴きやすかった。ゲストに対する質問の仕方やリアクションが的確でよどみなくスッと入ってきた。ゲストの音が電話出演なので、音質がかなり違うことに聴いていてびっくりした。電話だということをつなぐ際に言ったほうが良い。せっかく麻雀のプロが出ているので、麻雀界の情勢や業界の話、初心者へのアドバイスなどがあったほうが良かったのでは。</p> <p>【審議機関の答申または改善意見の公表】</p> <p>1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載</p>